

### 第3節 適正で効率的・効果的な行政運営を推進する

#### ■現状と課題（前期基本計画までの成果を踏まえて）

少子高齢化の進行、地方分権社会の進展、市民ニーズの複雑、多様化、NPO・ボランティア活動の活発化など、社会情勢は大きく変化しています。また、民間の能力を活用する指定管理者制度の導入や民間への業務委託を推進する動きが高まっており、市内の17の施設において指定管理者による施設管理を行っています。

本市においては、他市に先駆け、財政危機の克服と効率的・効果的な行政運営を目的に職員数の抑制を図りながら市民サービスの向上に取り組んできており、一定の成果を上げてきています。しかしながら、50歳代職員が35%であるのに対し、40歳代職員が15%（平成23年4月現在）と歪な年齢構成となっているため、中堅層職員が少ないなどの問題が生じています。

また、団塊の世代の退職のピークは過ぎたものの、まだ今後数年間は大量退職が続くため、職員の空洞化を回避するとともに、少ない職員数でこれまで以上の行政サービスを提供できるよう、権限移譲や公務員の定年延長の動向を踏まえ、定員管理計画の見直しを行うとともに、今後においても、適正な給与制度に努める必要があります。

人材育成については、平成14年に「城陽市人材育成基本方針」を策定し、また、平成13年から目標管理制度とあわせて人材育成型人事考課制度を導入し、社会情勢の変化に対応した人事管理と職員の能力・資質向上に取り組んできましたが、今後も引き続き取り組んでいく必要があります。

また、近年、地方自治体に対しては、各方面からの批判の目が向けられています。本市においては、これまでも適正な行政運営に努めてきましたが、さらなる透明性の確保が求められています。市政に対して、これまで以上に市民からの信頼を確保するため、透明性、公正・公平性を図った入札契約制度やわかりやすい予算、決算の公開などを行っていく必要があります。

#### ■基本方針

- 職員が能力や意欲を最大限発揮できる人事制度を確立し、市民の信頼と負託に応える人材づくりをめざします。
- IT（情報技術）を積極的に活用し、業務の効率化、迅速化、質的向上を進めるとともに、より一層の民間委託などを推進し、適正な定員管理を進め、効率的でスリムな市役所をめざします。
- 価格競争だけでなく、透明性、公正・公平性を図った入札契約制度の確立をめざします。

## ■まちづくり指標

まちづくり指標名	説明	単位	現状値 (平成22年度)	5年後の目標 (平成28年度)	めざすべき 目標
職員数	職員数（第2次定員管理計画）	人	497	461	461
職員一人あたり人口	人口／職員数	人	163.0	191	↑
市役所職員の仕事や対応に満足している市民の割合	まちづくり市民アンケート結果	%	57.9	75	100

## ■主な施策の展開

### （1）人事制度・定員管理の適正化

時代の変化に対応した人事管理を進めるため、目標管理を導入した人事考課制度、給与制度の改革に取り組み、職務職責に応じ、実績をあげた職員が適正に評価される人事制度を確立し、能力向上や意欲を引き出し、政策形成能力を有し自律的に行動できる職員づくりをめざします。

また、団塊の世代の大量退職後における職員の空洞化やノウハウの欠落を回避するとともに、効率的・効果的な行政運営を行うため、第2次定員管理計画を考慮する中で、定年延長や権限移譲などを踏まえた新たな定員管理計画を策定し、引き続き職員数の抑制とノウハウの継承に取り組みます。

### （2）職員の資質向上

職員が主体的に学習できる研修機会を拡充し、職員一人ひとりの能力開発に努め、地域に根ざした支援活動に取り組む職員など、時代の変化に対応する政策形成能力と市民から信頼される使命感、倫理観を備えた人材を確保・育成します。

### （3）委託化の推進

行政内部の事務全体の点検を行い、民間などにより実施することが適当な業務については、より一層の委託化などを推進するとともに、事務手続きの簡素化やIT化を積極的に推進することにより、行政のスリム化を図ります。

### （4）入札制度の確立

安全で良質な公共施設を整備するための工事発注に係る入札契約制度を、価格の競争のみでなく、透明性、公正・公平性を図りつつ、事業者の技術力などを含めた総合評価落札方式への移行を検討します。また、安価で良質な物品購入を行うため入札制度の改善を進めます。

### (5) 公有財産の適正な管理

公有財産や備品などの管理に関して、経営的な視点をもって適切な財産管理を進めます。また、公共施設については適正な維持管理に努めるとともに、施設の設置目的や活用状況を踏まえ、指定管理者制度の適正な運用やさらなる外部委託の導入など効率的、効果的な管理運営を進めます。

## ■市民まちづくりワークショップからの提言（平成18年）

### 市民の役割（例示）

○市民窓口アンケートなどを記入することにより、職員の仕事内容や組織体制などについて公平・公正な評価を行う。